

2025 年 4 月 30 日

臨床研究に関する情報公開

当院では当院では以下の臨床研究を実施しております。この研究は通常の診療で得られる情報を利用することによって行います。このような研究は厚生労働省の「臨床研究に関する 倫理指針」の規定により、個別の説明と同意を得る代わりに、研究内容の情報を公開することが必要とされております。

この研究に関するお問い合わせがありましたら以下の「問い合わせ先」へご照会ください。また、情報がこの研究で用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には、研究対象としますので以下の「問い合わせ先」までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

【研究課題】

大腿骨近位部骨折術後患者における薬剤師外来の有用性評価

【研究責任者】

斗南病院 薬剤部 大音師 澄子

【研究目的】

大腿骨を骨折した方は、その後に再び骨折するリスク(二次性骨折)が高くなることが知られています。そのため、骨粗鬆症の適切な治療を継続することが再骨折の予防に重要です。当院では2023年より、骨折後の患者さんに対して「FLS 外来(Fracture Liaison Service)」を設け、二次性骨折の予防に取り組んでいます。

この外来では、薬剤師が患者さんと面談し、薬の服用状況や副作用の確認、医師への治療提案などを行っています。

本研究では、薬剤師の関与が骨粗鬆症治療の継続や質の向上、そして再骨折予防にどのように貢献しているかを調べ、より良い支援体制の構築に役立てることを目的としています。

【研究期間】

機関長許可日から2026年3月31日まで

【研究対象】

2023年9月から2024年10月の期間において、当院 FLS 外来を受診した患者

【研究に用いるカルテ情報】

年齢、性別、使用中の薬剤、身体所見、血液・骨密度検査結果、その他診療録の記録

【研究組織】

斗南病院 薬剤部

【個人情報の取扱い】

研究に利用する情報には個人情報が含まれますが、院外に提出する場合には、お名前など、個人を直ちに判別できる情報は削除し、研究用の番号を付けます。また、研究用の番号とあなたの名前を結び付ける対応表を当院の研究責任者が作成し、研究参加への同意の取り消し、診療情報との照合などの目的に使用します。対応表は、研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。

情報は、当院の研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。

【研究資金及び利益相反について】

研究における利益相反とは、研究結果がゆがめられる恐れのある利益が発生している状態をいいます。

本研究には、研究資金はありません。また、本研究の研究者の利益相反については、当院の臨床研究利益相反委員会で審査され、適切に管理されております

【問い合わせ先】

斗南病院

薬剤部 大音師 澄子

電話 011-231-2121